

## 患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研究課題名	摂食嚥下障害患者の在宅での摂食状況の把握に関する調査
研究責任者 (共同研究者)	小山内奈津美 小寺愛 佐藤一馬 佐藤真里子
研究目的と意義	当院総合診療科では、摂食嚥下障害患者に対して、言語聴覚士による嚥下リハビリテーションを積極的に実施し、退院時には食事内容や摂取方法等の助言が必要な方には本人・家族へ摂食指導を行っております。摂食嚥下障害は、長期間に渡り罹患することが多いことが知られ、嚥下リハビリテーションを実施した患者であっても、退院後に継続した支援が必要となる場合が多いことが報告されております。 本研究の目的は、摂食嚥下障害患者が、安全な食事摂取を継続するために、退院後の在宅での摂食状況・栄養状態の実態を調査・把握し課題を分析することにより、実態の改善への方略についての示唆を得ることです。
調査対象となる方 (該当期間)	2022年7月1日から2024年7月31日までの期間に、当院総合診療科に入院し言語聴覚士による嚥下リハビリテーションを実施後に自宅退院した摂食嚥下能力（以下FILS）9以下の47例。
研究方法 (使用する情報)	電子カルテに記載のある診療記録と検査データを利用します。 （性別、年齢、同居の有無、原因疾患、誤嚥性肺炎の既往、脳血管疾患の既往、入院期間、病前・入院時・退院時のFILS・退院時の食事と水分の形態、退院時の摂食指導の内容、退院時BMI・退院時の機能的自立度、退院後3ヶ月以内の誤嚥性肺炎の発症の有無）
研究期間	倫理委員会承認日（2024年8月9日）より1年間
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報（イニシャル、生年月日、当院IDなど）は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	この研究に関して新たに患者さんにしていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。 お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 リハビリテーション科 研究責任者：小山内奈津美 電話番号：0172-55-7717
備考	特記なし